

会医療法人明陽会 成田記念病院 外科



【当院の理念】

人の優しさと温かさを根源とした先進医療を目指して地域社会に貢献する。

【当院の特色】

当院外科では呼吸器、乳腺、消化器外科を中心に診療を行っています。最近では腹腔鏡や胸腔鏡を使用した鏡視下手術による患者様のQOL(Quality of life:生活の質)の維持、病院滞在日数の短縮化が病院の課題とされており、当院でも腹腔鏡・胸腔鏡を駆使した手術を積極的に導入し、安全かつ迅速な手術治療を行っています。この数年の傾向として、悪性疾患では肺癌、大腸癌、肝胆膵悪性腫瘍に対する鏡視下手術数が増加、良性疾患では胆石症やヘルニアに対しても数多くの腹腔鏡手術を行っています。

胸部外科領域においては、ほとんどの自然気胸や小範囲切除の肺癌に対して胸腔鏡下手術を行っています。また、乳癌では適応の許す限り部分切除等の乳房温存手術を行い、術前に腋窩リンパ節転移が陰性の症例にはセンチネルリンパ節生検を行い、腋窩の郭清を省略、術後リハビリテーションの軽減、上肢の浮腫予防に努めています。

消化器癌に対しては積極的に腹腔鏡下手術を導入し、上部消化管では早期胃癌、局所切除の適応となる粘膜下腫瘍を中心に腹腔鏡下胃切除術を行っています。結腸・直腸癌に対しては進行癌まで含めて約6割以上の症例に腹腔鏡下手術を行っており、今後も消化器癌に対する腹腔鏡下手術の適応を拡大していきます。また、当院消化器内科の充実に伴い、肝胆膵悪性疾患に対する手術件数も増加しており、名古屋市立大学病院消化器外科と連携し、適応となる膵腫瘍に対して腹腔鏡下膵体尾部切除術を導入しています。

術前・術後化学療法については、外来に設置されている化学療法室で安全に行われており、特に乳癌、胃癌、大腸癌、膵胆道系悪性腫瘍に対し、ガイドラインに準じて適切な化学療法を行っています。また、症例によっては当院の高精度放射線治療センターと連携し、適切な術前後放射線治療を行っています。さらに平成30年には、東海三県で2施設目となる成田記念陽子線センターが完成予定で、外科での手術治療に加えてさらに充実した化学放射線治療が可能となります。

病床数	284床
-----	------

手術件数 ('14-16年平均数/年間)	346件
----------------------	------
